

## 税の作文で岡野さんが

### 東京国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞を受賞

全国納税貯蓄組合連合会並びに国税庁が主催した中学税の「税についての作文」。本町から作品を応募した神崎中学校3年の岡野京介さんが、見事、東京国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。また、金田友里さんの作品が千葉県納税貯蓄組合連合会長賞に、水内歩美さんの作品が佐原税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞に入賞しました。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました岡野京介さんの作文を紹介します。

### 病室で感じた税の大切さ

神崎中学校3年

岡野 京介 さん



病室に差し込む光、真っ白い空間で目を覚ます日々が続きました。私は、夏休み早々に虫垂炎で入院

しました。

体育祭練習どうしよう、宿題終わるかな、最後の大会出られるかな。様々な不安が頭の中で一杯になり、「そっぴいば治療費いくらかかるのだろう」と、親の負担が気になり出しました。

母に聞くと、自己負担額は少いで、国や県、町がほとんどを負担してくれるということでした。どういうことだろう。少し考えてみて、税のおかげだということがすぐにはわかりました。

母にもう一度聞くと、詳しく教えてくれました。

まず、母の勤務先で加入している健保組合の高額医療交付金制度により、負担額が軽減されます。

又、自己負担分については、県の「ひとり親家庭医療給付制度」により、負担してもらい、残り町内の「小中学生医療費助成交付金制度」で負担してもらえます。

私の医療費をたくさんのもので負担してもらっていると知り、とても驚きました。

そして医療費の資金は、国民の

支払う税金がもとになっていることを、再認識しました。

母達が納めている所得税や住民税、他にも固定資産税や自動車税、私達も支払っている消費税等、税金には色々あります。

我町は人口約六千五百人の小さな町で、デイズニールランドや成田空港のような施設や大きな工業団地もありません。限られた町税の中から私達の医療費が支払われていることに、感謝しなければいけないと思います。

私達の中学校の校舎、体育館も町税で管理されています。三月の震災の時も、体育館が耐震の改修を終えたばかりで、万が一、命にかかわっていたかと思うと、本当に良かったと皆で話し合ったばかりです。

机も椅子も大切に使わなければならないと実感しました。

私達中学生が安心して学校生活を送り、元気に過ごすことができるのは、税金が大事に使用されているからです。税金がムダに使用されてしまったらとても残念です。納税は大変でも、私達の生活には欠かせない全てに必要なものだから、皆が考えてほしいと思います。

では、私達にできることは何で

でしょうか。まず、私達一人一人が税に関心をもちことが大事だと思います。

自分のことに置き換えて考えると、必要なことが見えてきます。医療助成のことも自分が虫垂炎で入院しなければ気がつかないことだったからです。

どのように税金が使われているかに興味を持って生活しようと思います。又、身の周りのあらゆる事に使われている税金に感謝をして、私達のために税を納めている親の思いに精一杯応えていこうと思います。

将来、私達が社会人になり納税する時がくるまで、税の大切さを更に意識していこうと思います。



佐原税務署天野署長から表彰状を受け取る